

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

 支出科目 款：企画調査費 項：総合文化推進費
 目：芸術文化行事等開催費

事業名 岐阜県青少年美術展開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

 環境生活部 県民文化局文化伝承課 電話番号：058-272-1111(内3124)
 教育文化係

E-mail : c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **4,150 千円** (前年度予算額：**4,284 千円**)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,284	0	0	0	0	0	0	0	4,284
要求額	4,150	0	0	0	0	0	0	0	4,150
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・令和5年度は、令和4年度よりも参加校数と応募点数が増加し、青少年の作品発表の貴重な機会となっている。また、総観覧者数も増加したことに加え、初めて岐阜県美術館に来館する観覧者も多く、文化芸術に触れるよい機会となっている。よって、今後とも青少年の文化芸術に対する興味・関心を高めていく展覧会の実施を必要とする。
- ・昨年度に引き続き令和5年度も、最優秀賞受賞者の表彰式を実施した。この表彰式により、小中高生の美術等の能力向上に対する意欲が高まっている。さらに、岐阜県美術館長が選定する「ナンヤローネ賞」を設定してきたことで、青少年の文化芸術への興味・関心も高まってきている。今後も、本県美術の普及のため、広く県内から作品を公募し、より多くの参加校、参加者を募り、多くの園児・児童・生徒に観覧する場を設けることで、さらなる向上を目指す。

(2) 事業内容

- ・青年部5部門（絵画、デザイン、立体、書道、写真）、少年部2部門（絵画デザイン、書写）の作品を公募
- ・岐阜県美術館において、全ての入賞・入選作品を展示
- ・青年部少年部各部門の最優秀賞を選定し表彰式を実施
- ・岐阜県美術館長選定による「ナンヤローネ賞」を選定

(3) 県負担・補助率の考え方

文化芸術を創造する人づくり、文化芸術振興の環境づくりに向けた対策として、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	55	少年部一次選定委員謝金、運営委員謝金、選定委員会謝金
旅費	376	青年部、少年部選定委員旅費、運営協議会委員旅費、業務旅費
需用費	448	消耗品費、印刷製本費(賞状、応募要項等)
役員費	62	通信運搬費、案内業務
委託料	3,190	作品輸送・展示・会場設営・会場撤去一式、写真撮影代、看板代
使用料	19	パロー文化ホール使用料
合計	4,150	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

(2) 国・他県の状況

(3) 後年度の財政負担

(4) 事業主体及びその妥当性

指標①	目標：青年部 1,200	実績：1,105	達成率：92.0%
指標②	目標：少年部35,000	実績：34,681	達成率：99.0%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>子どもたちが作品を発表する機会、鑑賞する機会として、園や学校及び県内の皆様からの支持は高い。幼児期から青年期にかけての能力開発の視点からも、本県美術の普及と表現力の育成につながるため、事業の必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>令和5年度は、令和4年度よりも応募数が増加した。本展覧会への期待は高いため、開催の周知徹底を図り、応募数の増加を目指す。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>少年部では、各県事務所において、1次選定が行われ、点数を絞ることとで、本選定を円滑に実施している。 本選定においても、会計年度任用職員を効果的に配置し、できるだけ広く会場を使用して選定作品を並べ、多くの作品を短時間で選定できるよう効率化を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 中長期的な課題として、児童生徒数の減少により、応募者数も減少傾向にあるため、前年度から学校関係者への周知を行い、令和3年度より応募者数を増やすことができた。今後も公募案内や開催案内をより幅広く行い応募者数の増加を目指す。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 子どもたちが作品を発表する機会、鑑賞する機会、また表彰を受け制作意欲を高める機会として、園や学校及び県内の皆様からの期待は高い。 今後も、各高等学校、各教育事務所や市町村教育委員会を通じて、応募者数と観覧者数の増加を求め、実施していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	